

研究課題名	当院における子宮体癌に対するロボット手術の後方視的検討
研究の意義・目的	本邦では傍大動脈リンパ節の摘出を必要としない再発低リスクの術前推定 I 期患者を対象に、2014 年に腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術が、2018 年にロボット支援子宮悪性腫瘍手術が保険適用となり新たな治療選択肢となりました。当院では早期子宮体癌に対し 2014 年 12 月より腹腔鏡手術、2022 年 10 月よりロボット手術を導入しており、今回 2014 年以前の開腹例と比較し、有効性および安全性を過去を振り返って検討します。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~ 2026 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2012 年 12 月から 2014 年 12 月までに子宮体癌 I A 期（類内膜癌 Grade1 - 2）の術前診断で開腹手術を受けられた方および同診断で 2014 年 12 月から 2024 年 12 月までに腹腔鏡手術およびロボット手術を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、血液検査データ、CT 画像、MRI 画像、有害事象、治療効果、臨床経過】
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学 機関の長の氏名：理事長 福島 伸一
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 女性病態医学 研究責任者：角 俊幸 電話番号：(06) 6645-3862

試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科女性病態医学のみで行います。 【研究責任者】角 俊幸
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 女性病態医学 (担当者氏名) 山内 真 電話番号：(06) 6645-3862 メールアドレス：k21154y@omu.ac.jp